

各クラブ 監督
コーチ
トレーナー
現役学生 各位



2010年10月12日

立命館スポーツフェロー
会長 村岡 治

講演会と治療

拝啓 晩秋の候、各位におかれましては、立命館大学体育会の中で日々御活躍の事と存じます。

平素は立命館スポーツフェローに御理解と御支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、皆様におかれましては、現役学生が日頃の練習や試合で身体的打撃を受けて、故障や怪我からの回復に悩まされる事が多々あると思います。また、長期的な疾患や症状（腕がなかなか上がらない【肩こり】、首がスムーズに回らない【首の痛み】、足がなかなか上がらない【ひざの痛み】）を新たな治療法で治す方がいらっしゃいます。

この度、信じられないですが、2~5分間の治療で治す方の講演会を企画致しましたので、多数の御参加をお待ちしております。

当日、会場で皆様の中から十数名の治療をしていただきますので、患っておられる方も御出席下さい（治療費はいりません）。

敬 具

記

日 時 : 2011年1月15日(土) 午後4時00分から6時30分

場 所 : 立命館大学朱雀キャンパス 1F 多目的ホール

講演者 : 佐藤 清 氏 (気経絡・創設者)

PROFILE(プロフィール)

1936年(昭和11年)9月22日、富山県富山市八尾町生まれ、接骨師、鍼灸師、中国医学・東洋医学の研究者。インドに渡りアーユルヴェーダ医学を学び、経絡、ツボによる新治療法を発見。故・岡崎嘉平太氏の推薦で、中国の周恩来首相(当時)の主治医であった中国医学の第一人者の馮天有(フーテンユウ)師を知り、中国医療の研究を重ねる。その師である羅有名(ラーユウメイ)女師にも師事して、中国医療の奥義を習得し、自己免疫力による自然治療をめざす慢性病疾患の代替医療「羅天清療法」を集大成した。

読売ジャイアンツ・原辰徳監督、ロサンゼルス・エンゼルの松井秀喜選手をはじめ、バレーボー

ル全日本の男子チーム、プロゴルファーのセベ・バレステロス選手など、数多くのスポーツ選手の治療を手がけてきた。

さらに医療の質を高めるために、薬草を求めて、アジア各地やヒマラヤまで足を踏み入れ、ひたすら研究に専念し、捻挫からガンまで、幅広い施術を行なう柔軟性は天与の才との評価を受けている。だれでも気軽に相談できる気さくな人柄も、信頼のあかしだ。治療法や治療器具の発明や特許申請も多い。

著作に「21世紀は無病の時代になる」「飲んで、塗って、痛みが消えた」「体内酸素革命」(たま出版)がある。